

ぞうしがやフレーザーパーク通信 2022.2.27

◇日時：2022年2月27日（日）午前10時30分～午後3時

◇天気：晴れ、午後強風

◇場所：豊島区立雑司が谷公園（芝生広場）

◇参加：120人程度

◇スタッフ：林、実川、井上、浜野

◇お手伝い：東京下町紙芝居 藤田さん他 計2名、ペープサート 宇田川さん

◇来訪者：伊達米店伊達さん

◇寄贈：木材（参加者）、スズランテープとケース・紙皿（林）

◇企画：

「木工：のこぎり台をつくろう」、「凧づくり」、「長縄跳び」、「段ボール工作」

◇簡単報告：

◆暖かい一日で、午前中は穏やかだったが、午後は強風で段ボール、紙類が飛ばされるほど。凧あげにはうってつけの風だったので、午後は凧作り・飛ばしをした。

◆ボールひろばでペーパーボール（知的障がい者も楽しめるユニバーサルスポーツ）の催しを行っていて、その参加者もブレバに来ていた。ペーパーボールの帰りに、親子三代でブレバで一日中遊んでいた家族もいた。

◆午後、ペーゴマベテランのおじいさんがやってきて、沢山のデコ・ペーゴマを持参し、子どもたちと一緒に遊んだ。初めて挑戦した子どもが、4人と対戦して勝ち、すっかりペーゴマ好きになっていた。

◆木工では、今回はのこぎりを多く使った。途中、セルフサービスのようにしたら、大きなノコギリが割れてしまった。おそらく切断途中で引っかかってしまったノコギリを無理にねじって割れたのだと思われる。のこぎりを使ったあと地面に置きっぱなしにして、気付かずに踏んでいる子どもがいた。

◆道具類の出しっぱなし、ペンやボンドのキャップを閉めずに放置するケースが相次いだ。道具類の出し方、動線に改善が必要。シートの位置と道具の位置が離れていて、動線が複雑。

◆火の使用は、蔓延防止宣言が続いていることから、見送った。炊飯の準備をして参加した方が少なくとも2組いた。また、炊き出しを目指してやって来たと思われるホームレス風の方もいた。

◆片づけを手伝うのを楽しみにしていて、毎回終わり掛けに参加する親子がいる。

◇その他：

◆この公園は風が強いので、強風を想定した物の出し方、風をいかした遊び方を考える必要がある。火を使う場合には七輪が良いかもしれない。

◇次回へむけた改善点・アイデア

◆ノコギリ：セルフにはせず、「使いたい人はスタッフに声をかけてください」と張り紙する。

◆木工道具の出し方：シートの境界線にテーブル・台（ケースをひっくり返す）を置き、道具置き場とする。

◆木材を重しにしてシートを固定しているが、材料が適当に出しっぱなしにしてあるようにも見えるので、ペグで固定する。

◆はさみ：用途が限られている（毛糸類を切る）ので、使う場所の近くに紐で縛って置いて置く。

◆フタ：本体に注意書きをする。フタを閉めると絵が完成するようにシールを貼る。

◆どのように運営しているか、応援の方法について、説明の看板をつくる：理解を深めてもらうために

◆やすりの正しい使い方：やすりで磨いた見本を置いたり、紙やすりに「ざらざら」「つるつる」などの説明を書いて置くとよいかも。やすりで磨くことを一つの企画にする。

◇次回（3月27日）に向けて：

◆行事保険申し込み（3月分）、段ボール収集、ガムテープ、ボンド、やすり（布やすり・金やすり、紙やすり3段階くらい）、ゼットソー265+替刃、袋を集める（凧用）